

会員（特別・正・賛助）各位

講談社野間道場道好会 代表 宮 勝幸

新型コロナウイルス感染拡大予防対策
稽古再開に向けたガイドライン

本会は、令和2年6月10日付全日本剣道連盟（以下全剣連）の「対人稽古自粛のお願い」解除通達と、「稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に制定された方針内容に沿って予防対策を講じて参ります。

さらに、全剣連から令和2年6月24日追加更新されたお知らせも参考にしました。

本会の稽古再開は、講談社様の会社業務に支障のない様に心がけ、講談社野間道場道好会の特性に応じてガイドライン及び稽古計画案を策定したものです。

記

1. 基本的な考え方

- ・稽古再開日は、講談社剣道部・野間文化財団の了解了承のもと設定する。
- ・稽古計画は会員の安心安全確保を最優先とする。
- ・役員・運営実行委員による稽古前の消毒作業（道場、芳名帳、鉛筆、ドアノブ、蛇口、更衣室・棚、トイレ等）、退場時の通路・エレベータの除菌を実施する。
- ・当面、稽古参加人数の過密防止の為本会登録会員のみの稽古とし、人数制限をする。メールによる事前予約制とする。見学者も含め外来者の来場は禁止。さらに、当面2部稽古もなしとする。
- ・「ワクチン3回接種証明書」もしくは、PCR検査証明書が必要で、持参するか事前にメール添付し承認を得る。

2. 稽古計画について

(1) 日程

- ① 感染状況をみながら判断する。
- ② 稽古は、7時00分～8時00分とし、7時00分以降の道場内への入室は認めない。
- ③ 人数は、当面事前予約の各日40名を目安とする。

(2) 稽古の内容

通常の対人稽古とするが、竹刀の事故等を防ぐ為剣道具の点検を念入りに実行する。

(3) その他

体力面で明らかに不安を有する稽古参加者は、役員並びに運営実行委員の指示に従うこと。特に、基礎疾患のある会員は稽古に参加しない。

3. 設備・施設面・稽古中の対応についてのガイドライン

(1) 消毒対策・体調管理対策

① 入場時の心得

- ・道場出入口（第一別館1階・5階）で各自消毒の上、入退場。
- ・役員・運営実行委員から、非接触型温度計の検温を受ける。
- ・名簿に氏名を記入し、その下に計測体温も記入する。

② 稽古中の心得

- ・稽古に参加するすべての会員は、面マスクを着用する。対人稽古には、面マスクとシールドの併用をする。
- ・役員・運営実行委員の指示に従い、稽古中の密状態を回避する。
- ・特別会員（八段の先生）へ、同時に並ぶのは5名までとし、順次入れ替わる。その際、列の間隔に関しては2メートル以上をあけ、指定された場所で元に立つものとする。
- ・稽古内容は、各自の判断に任せるが、1回3分程度の短めが望ましい。

③ 稽古後の心得

会員の剣道具（防具・竹刀・サポーター類）、剣道衣は、各自消毒作業を行い所定場所に保管する。

④ その他の心得

- ・7時30分頃に太鼓の合図にて稽古を中断し、空気の十分な換気を行う。
- ・浴室（当面シャワーのみ）、更衣室の使用者には短時間の使用を徹底する。

4. 道場内稽古上の会員順守事項についてのガイドライン

① 稽古前の各会員の防具出しは、道場の消毒終了後に行う。

② 道場入場時、退場時は必ずマスク着用。

③ 特別会員の防具出しは、当面行わない。

④ ソーシャルディスタンスを念頭に、各自準備運動の実施。

⑤ 着面時、面マスクの着用と剣道用飛沫ガード又はシールドを必ずセット。

⑥ 稽古後の元立ちへの個別挨拶は自粛し、速やかにマスク着用し退出。

⑦ 稽古終了後の清掃作業は、マスク着用し手早く終了解散。

上記、すべての本会ガイドライン対応策・会員順守事項に関しては、適時道好会役員並びに運営実行委員の指示・指導に従って頂きます。何卒ご理解ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

以上